

平成28年1月18日
JR北海道釧路支社

踏切と～まれ！ 『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図り、安全・安定輸送を確保するため、「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

昨年度JR北海道では10件の踏切事故が発生しており、そのうち4件が12月からの冬期間に発生しています。

本年度は5件の踏切事故が発生していますが、そのうち12月からの冬期間においては、3件発生しています。

踏切事故は一度発生すると列車運休などの大きな輸送障害となるばかりでなく悲惨な死傷事故にもつながります。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい状態になることが想定されます。そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、社員による踏切・駅改札での啓発活動などを通して「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」「早めのブレーキとスピードダウン」など、踏切での安全通行をドライバーに呼びかけます。



【啓発活動風景】

■実施期間

平成28年1月21日（木）から1月30日（土）までの10日間

■実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・ ラジオCMの放送
- ・ 列車内ポスター掲出による呼びかけ
- ・ 踏切等でのパンフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 主要駅、列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 関係機関・企業及び各団体等への呼びかけ

<本年度冬期（12月以降）に発生した踏切事故>

本年度の踏切事故は1件（1月15日現在）発生しています。

- ・ 12月26日、根室線 別保駅構内の“笠井踏切”で、乗用車が遮断機の下りた踏切内に入し普通列車と衝突。

* 道路路面が圧雪または凍結により滑りやすい状態でした。

(別紙)

釧路支社管内における事故防止PR活動

各地区において踏切事故防止の啓発活動を行います。啓発に際しては、ノボリを掲出し、各地区のJR社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布し、JRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼びかけていきます。

また、一部の踏切における啓発活動につきましては鉄道警察隊の方々にも参加いただき啓発を行う予定となっております。

帯 広 地 区	帯広駅改札 1月21日(木) 9:30~10:30
釧 路 地 区	笠井踏切(別保駅構内) 1月21日(木) 8:00~8:30 木工場踏切(釧路駅構内) 1月21日(木) 10:45~11:15

※ なお、当日の天候等により、一部予定を変更する場合があります。